

## 【学校】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
石岡市立 石岡小学校	教室棟	石岡市総社一丁目2番10号	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.62$	—	—	Iso=0.7
	管理教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.68$ (1.18/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.47$	—	—	Iso=0.7
	配膳室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(1996年版)	$I_s=1.05$ $q=1.86$	—	—	
石岡市立 高浜小学校	管理教室棟	石岡市高浜62番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ (0.82/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7
石岡市立 石岡中学校	普通教室棟	石岡市東石岡四丁目2番1号	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ (0.81/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Iso=0.7
	管理特別教室棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.32$	—	—	Iso=0.7
	玄関棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.67$ (1.17/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Iso=0.7
結城市立 絹川小学校	校舎	結城市小森2227	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	Iso=0.7
結城市立 上山川小学校	校舎	結城市上山川3388	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	—	—	Iso=0.7

結城市立 結城中学校	特別棟(33棟)	結城市大字小田林2600	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下(西)(34棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下(東)(35棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.52$	—	—	Iso=0.7
	管理教室棟(32棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Iso=0.7
	管理教室棟(22棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	Iso=0.7
結城市立 結城南中学校	管理棟(1棟)	結城市大字大木1123	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1$ (0.7/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟(2棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	Iso=0.7
	東昇降口(3棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(2011年版)	$I_s=1.01$ $q=1.35$	—	—	
	西昇降口(14棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(2011年版)	$I_s=0.93$ $q=1.24$	—	—	
結城市立 結城小学校	西校舎(10棟)	結城市大字結城1927	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7
	東校舎1-1(19棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	Iso=0.7
	東校舎1-2(31棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.5$ (1.05/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	Iso=0.7
	東校舎1-3(32棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	Iso=0.7

龍ヶ崎市立 龍ヶ崎小学校	旧棟	龍ヶ崎市3316	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_T \cdot S_D=0.45$	—	—	Iso=0.7
	新棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_T \cdot S_D=0.31$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=2.01$ (1.41/0.7) $C_T \cdot S_D=0.47$	—	—	Iso=0.7
下妻市立 大形小学校	北棟(A棟)	下妻市別府199番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ (0.81/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	Iso=0.7
	南棟(B棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	Iso=0.7
下妻市立 下妻小学校	北棟	下妻市下妻乙386	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	Iso=0.7
	南棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.67$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.54$ (1.08/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	—	—	Iso=0.7
	給食棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.42$ (1.00/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	Iso=0.7
下妻特別支援学校	管理教室棟A棟	下妻市半谷芝山492-4	特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=3.4$ (2.04/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=1.16$	—	—	
	管理教室棟B棟		特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.53$ (0.92/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.97$	—	—	
	渡り廊下		特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(1996年版)	$I_s=0.84$ $q=3.35$	—	—	

常総市立 三妻小学校	管理特別教室棟 (②、③-1、③-2 号棟)	常総市中妻町4146番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	Iso=0.7
	教室棟(①-1、①-2号棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	Iso=0.7
常陸太田市立 太田小学校	管理・教室棟	常陸太田市中城町151	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ (0.78/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	Iso=0.7
	教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.42$ (1/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	Iso=0.7
常陸太田市立 誉田小学校	教室棟	常陸太田市増井町1303番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.78/0.77) $C_{TU} \cdot S_D=0.78$	—	—	Iso=0.77 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U=0.33$
常陸太田市立 佐竹小学校	管理・教室棟	常陸太田市谷河原町298番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.85/0.77) $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	Iso=0.77 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U=0.33$
常陸太田市立 太田中学校	教室棟	常陸太田市新宿町466番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.06$ (0.82/0.77) $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	—	—	Iso=0.77 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U=0.33$
笠間市立 笠間中学校	管理教室棟	笠間市笠間2702番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.87$ (1.31/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.48$	—	—	Iso=0.7
笠間市立 稲田中学校	—	笠間市稲田2145番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	Iso=0.7

牛久市立 牛久小学校	教室棟1-1棟、1-3棟	牛久市牛久町2619番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.96$	—	—	Iso=0.7
	教室棟1-2棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ (0.85/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	—	—	Iso=0.7
	教室棟1-4棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.92$	—	—	Iso=0.7
牛久市立 岡田小学校	教室棟①	牛久市岡見町2050番地2	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	Iso=0.7
	教室棟②		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	管理教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	Iso=0.7
牛久市立 牛久第二小学校	管理・特別教室棟	牛久市田宮町530番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.78/0.72) $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	Iso=0.72
	普通教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.19$ (0.86/0.72) $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	Iso=0.72
	渡り廊下棟		小学校	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.7$ $q=1.2$	—	—	
牛久市立 中根小学校	校舎(①-1-A棟)	牛久市中根町235番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	Iso=0.7
	校舎(①-1-B棟、①-2棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	Iso=0.7
	給食棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.25$ (1.58/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=1.62$	—	—	Iso=0.7

牛久市立 向台小学校	管理特別教室棟①-1	牛久市牛久町1606番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	Iso=0.7
	給食棟、 普通教室・特別教室棟①-2、②		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟①-3		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	Iso=0.7
	昇降口・ 普通教室棟③		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7
牛久市立 牛久第三中学校	管理教室棟 特別教室棟 給食室棟	牛久市城中町1830番地1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.83/0.77) $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	Iso=0.77 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U=0.33$
鹿嶋市立 高松中学校	普通教室・管理教室棟⑩	鹿嶋市大字木滝274	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟⑪		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.85$ (1.3/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟⑪		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	Iso=0.7
鹿嶋市立 鹿島中学校	校舎棟①-1・2	鹿嶋市大字宮中2398-1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.8$	—	—	Iso=0.7
	校舎棟②		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.12$ (0.79/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.86$	—	—	Iso=0.7

鹿嶋市立 波野小学校	教室A棟	鹿嶋市大字明石516	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.42 (1/0.7) C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> =0.35	—	—	Iso=0.7
	教室B棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> =0.39	—	—	Iso=0.7
	体育館棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.22 (0.86/0.7) C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> =0.32	—	—	Iso=0.7
			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is=0.98 q=3.02	—	—		
常陸大宮市立 大宮西小学校	1号A棟	常陸大宮市抽ヶ台町2906-8	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.09 (0.768/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.78	—	—	Iso=0.7
	1号B棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.15 (0.806/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.82	—	—	Iso=0.7
常陸大宮市立 大宮中学校	1号棟・3号棟	常陸大宮市抽ヶ台町3117	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08 (0.76/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.78	—	—	Iso=0.7
	2号棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05 (0.74/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.76	—	—	Iso=0.7
常陸大宮市立 明峰中学校	1号棟	常陸大宮市上小瀬1281	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.03 (0.8/0.77) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.83	—	—	Iso=0.77 0.3・Z・G・U=0.33
	2号棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.03 (0.8/0.77) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.83	—	—	Iso=0.77 0.3・Z・G・U=0.33
	渡り廊下		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.66 (1.28/0.77) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.57	—	—	Iso=0.77 0.3・Z・G・U=0.33
那珂市立 額田小学校	管理・普通・ 特別教室棟	那珂市額田北郷311	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.35	—	—	Iso=0.7
那珂市立 菅谷小学校	校舎棟	那珂市菅谷2378番1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.1 (0.77/0.7) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.82	—	—	Iso=0.7

那珂市立 五台小学校	普通・特別 教室棟(A棟)	那珂市大字東木倉960-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	普通・特別 教室棟(B棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.14$ (0.8/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.45$	—	—	Iso=0.7
	普通・特別 教室棟(C棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.28$ (0.9/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.34$	—	—	Iso=0.7
那珂市立 菅谷西小学校	管理・普通・ 特別教室棟(1-1)	那珂市菅谷4542-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	Iso=0.7
	管理・普通・ 特別教室棟(1-2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.81$	—	—	Iso=0.7
那珂市立 第二中学校	本校舎	那珂市額田南郷2386番地4	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.79$	—	—	Iso=0.7
筑西市立 下館中学校	北校舎 (校舎棟番1)	筑西市岡芹1000番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	Iso=0.7
	南校舎 (校舎棟番3)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.8$	—	—	Iso=0.7
筑西市立 下館小学校	北校舎 (校舎棟番15-1, 2)	筑西市甲392番地1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.64$	—	—	Iso=0.7
	南校舎 (校舎棟番17-1, 2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	Iso=0.7
	重層廊下等 (校舎棟番17-3)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.51$	—	—	Iso=0.7



筑西市立 大田小学校	南校舎 (校舎棟番12-1～3)	筑西市西方1748番地1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	Iso=0.7
	昇降口棟 (校舎棟番12-4)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7
	北校舎 (校舎棟番17-1)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟 (校舎棟番17-2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ (0.83/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	Iso=0.7
筑西市立 養蚕小学校	東校舎 (校舎棟番2-1, 2)	筑西市下中山298番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.81/0.75) $C_{TU} \cdot S_D=0.98$	—	—	Iso=0.75 $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U=0.375$
	西校舎 (校舎棟番13)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.36$	—	—	Iso=0.7
筑西市立 川島小学校	北校舎 (校舎棟番1-1,2)	筑西市伊讚美1859番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.59$	—	—	Iso=0.7
	南校舎 (校舎棟番3-1)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.1$ (0.77/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.61$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟 (校舎棟番3-2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=2.02$ (1.42/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	Iso=0.7
筑西市立 関城西小学校	北校舎 (校舎棟番4)	筑西市関本中388番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7
	南校舎 (校舎棟番14-1, 2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.44$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟 (校舎棟番15)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.9$ (1.33/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.42$	—	—	Iso=0.7

筑西市立 新治小学校	中校舎 (校舎棟番19-1, 2)	筑西市門井1890番地2	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ (0.83/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.46$	—	—	Iso=0.7
	北校舎 (校舎棟番22-1)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.5$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下棟 (校舎棟番22-2)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.05$ (0.74/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.53$	—	—	Iso=0.7
稲敷市立 あずま東小学校	校舎棟	稲敷市佐原下手口1番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ (0.81/0.7) $C_T \cdot S_D=0.34$	—	—	Iso=0.7
稲敷市立 あずま西小学校	管理棟	稲敷市福田1125番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_T \cdot S_D=0.69$	—	—	Iso=0.7
かすみがうら市立 下稲吉東小学校	1-1棟	かすみがうら市下稲吉2286	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	Iso=0.7
	1-2棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	Iso=0.7
かすみがうら市立 霞ヶ浦北小学校	1-1, 2棟	かすみがうら市下軽部1232	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ (0.78/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.8$	—	—	Iso=0.7
	1-3棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1$ (0.7/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	Iso=0.7
かすみがうら市立 下稲吉中学校	1-1棟	かすみがうら市下稲吉2273-2	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	Iso=0.7
	1-2棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	Iso=0.7
桜川市立 岩瀬小学校	教育棟	桜川市鎌田553番地5	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.15$ (0.69/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7

桜川市立 岩瀬西中学校	普通校舎棟	桜川市富岡535番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	Iso=0.7
	屋内運動場(RC部)		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.97$	—	—	Iso=0.7
	屋内運動場(S部)		中学校	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.89$ $q=2.12$	—	—	
	渡り廊下		中学校	「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s=0.7$ $q=1.12$	—	—	
桜川市立 岩瀬東中学校	普通校舎棟	桜川市磯部466番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ (0.78/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.72$	—	—	Iso=0.7
	管理校舎棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.08$ (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	Iso=0.7
	管理校舎棟通路部		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.4$ (0.98/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.38$	—	—	Iso=0.7
行方市立 麻生小学校	校舎棟1	行方市麻生1147-1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	—	—	Iso=0.7
	校舎棟2		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	—	—	Iso=0.7
	校舎棟3		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.18$ (0.83/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	—	—	Iso=0.7
	屋内運動場		体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.27$ (0.89/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.41$	—	—	Iso=0.7
大子町立 だいが小学校	管理・教室棟 (16-1棟)	久慈郡大子町大字大子460番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_T \cdot S_D=0.31$	—	—	Iso=0.7
	管理・教室棟 (16-2棟)		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_T \cdot S_D=0.66$	—	—	Iso=0.7

大子町立 大子中学校	校舎	久慈郡大子町大字池田1647、1648番地	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1$ (0.7/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.74$	—	—	Iso=0.7
美浦村立 大谷小学校	A-1棟	稲敷郡美浦村大字興津366番地	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.02$ (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.35$	—	—	Iso=0.7
	A-2棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ (0.82/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	Iso=0.7
	B-1棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.77$	—	—	Iso=0.7
	B-2棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.11$ (0.78/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	—	—	Iso=0.7
	D棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.17$ (0.82/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.31$	—	—	Iso=0.7
阿見町立 阿見小学校	校舎棟1	阿見町中央2-1-5	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	Iso=0.7
	校舎棟2		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.73$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.07$ (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	—	—	Iso=0.7
阿見町立 阿見中学校	校舎棟	阿見町中央1-2-1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D=0.75$	—	—	Iso=0.7

阿見町立 朝日中学校	普通教室棟	阿見町荒川本郷1855-1	中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.42$	—	—	Iso=0.7
	特別教室棟		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.48$	—	—	Iso=0.7
	展示ホール		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08 (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.56$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下1		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08 (0.76/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.32$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下2		中学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.32$	—	—	Iso=0.7
阿見町立 阿見第一小学校	普通教室棟	阿見町岡崎3-19	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04 (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$	—	—	Iso=0.7
	管理特別教室棟		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01 (0.71/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.71$	—	—	Iso=0.7
	普通教室棟2		小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04 (0.73/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$	—	—	Iso=0.7
境特別支援学校	管理教室棟	猿島郡境町塚崎2170	特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.06 (0.746/0.7) $C_T \cdot S_D = 0.39$	—	—	Iso=0.7
	小中学部棟		特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) $C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	—	—	Iso=0.7
	渡り廊下		特別支援学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.58 (0.951/0.6) $C_T \cdot S_D = 0.32$	—	—	

## 【体育館】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
笠松運動公園 体育館	メインアリーナ	那珂市向山1274-9	体育館	建築物の構造上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	
	サブアリーナ		体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.01$ (0.61/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	—	—	

## 【運動施設】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
笠松運動公園 陸上競技場 メインスタンド棟	—	那珂市向山1282-1	運動施設	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is0=1.05 (0.63/0.6) C <sub>T</sub> ・S <sub>D</sub> =0.33	—	—	

## 【病院】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
東京医科大学 茨城医療センター	中央病棟 (病棟部分)	稲敷郡阿見町中央三丁目3901番	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.03$ (0.62/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.54$	—	—	
	中央病棟 (機械室部分)		病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(2011年版)	$I_s=0.86$ $q=1.04$	—	—	
	南病棟 (病棟部分)		病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.1$ (0.66/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.66$	—	—	
	南病棟 (機械室部分)		病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(2011年版)	$I_s=1.15$ $q=2.26$	—	—	
	南病棟 (渡り廊下部分)		病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断基準」(2011年版)	$I_s=0.63$ $q=2.53$	—	—	



## 【集会場】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
神栖市 中央公民館・ 文化センター	中央公民館	神栖市溝口4991番地4	集会場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.16$ (0.70/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.71$	—	—	
	文化センター		集会場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.48$ (0.89/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.91$	—	—	

## 【店舗】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
うおとみ結城店	—	結城市大字結城字白銀町381番地2	店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=0.53$ (0.32/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	—	—	
サンポートかしま	—	鹿嶋市鉢形字中山1526番	店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.15$ (0.69/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.7$	—	—	

## 【ホテル】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
大洗ホテル	中央館	東茨城郡大洗町磯浜町6881	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ (0.61/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.62$			耐震改修 令和4年11月完了
	西館		ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.02$ (0.61/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.62$			耐震改修 令和4年11月完了
	宴会場		ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0}=1.18$ (0.71/0.6) $C_{TU} \cdot S_D=0.73$			耐震改修 令和4年11月完了

## 【公益上必要な建築物】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
龍ヶ崎市庁舎	—	龍ヶ崎市3710	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)	Is/Is <sub>0</sub> =1.04 (0.781/0.75)	—	—	Is <sub>0</sub> =0.75
常陸太田市本庁舎	—	常陸太田市金井町3690	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is <sub>0</sub> =1.02 (0.77/0.75) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.8	—	—	Is <sub>0</sub> =0.75 0.3・Z・G・U=0.375
神栖市役所庁舎	—	神栖市溝口4991番地5	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is <sub>0</sub> =1.01 (0.76/0.75) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.50	—	—	Is <sub>0</sub> =0.75 0.3・Z・G・U=0.375

## 【危険物の貯蔵場又は処理場】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
株式会社ADEKA 鹿島工場	マーガリン工場	神栖市東和田29番地	危険物処理場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is <sub>0</sub> =1.01 (0.609/0.6) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.3	—	—	
花王株式会社 鹿島工場	仕上工場	神栖市東深芝20	危険物処理場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is <sub>0</sub> =0.68 (0.41/0.6) C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub> =0.37	—	—	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果は、自社基準に基づき補強を実施したことによる数値

## 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合		$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	—	—	確認できる

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。  
 II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。  
 III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※ 附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。